

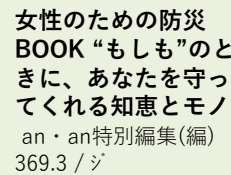


ご予約は
スタッフまで

ているHPから蔵書検索の画面へ飛ぶことができます。
<http://www.tiruru.or.jp/facility/library.html>

労働環境と ジェンダー平等

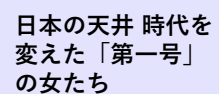
**薬物乱用
不法取引ダメ絶対！**



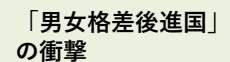
東日本大震災に
おける
医療・健康支援

地震
イツモマニュアル

K o d o m o e
2021年4月号
w i t h コロナの
子連れ防災術

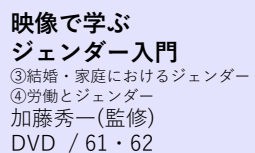


日本には幾重にもガラスの天井があった。そして、今もまだ残る天井がある。女たちは、偏見と迷信を破り続けた。超えたもの、そして未だ超えられぬものとは!? 「女」を追いかけ続ける著者が描く、闘いの時代史。

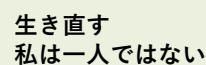


政府が女性活躍政策を推進しても、諸外国の改善と比較する相対評価では、まったく追いついていけない。

長年ジェンダー問題について取材・執筆・実践に取り組んできた著者は「多くの人が、『日本は男女格差が大きい』と実感せずに暮らしていることが、日本が変わっていかない一番大きな原因」と指摘する。本書では、諸外国の取り組みを紹介しつつ「日本で男女格差が縮まらない理由」を考察、国内の成功例を挙げながら、次世代のためにできることを提案する一冊です。



社会的に作り出された男女の違いを意味する「ジェンダー」。その概念を正しく理解するためには、普段私たちが抛りどころにする常識に潜む矛盾や思い込みに気づき、それらを打ち破る必要があります。「男らしさ/女らしさ」や多様な性、労働とジェンダーなど多角的な分析と理解を目的にしている映像資料です。学校や会社の研修などにもおすすめの作品です。



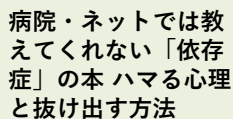
僕は「薬物依存症」でした。任侠の男の愛人の子として生まれ、その母は僕が17歳の時に自殺した。僕が歩んできた人生は、何の価値もないと思っていた。踏み出す前までは……。

特別寄稿：「薬物依存症について多くの人に知ってほしいこと」

主治医 松本俊彦 国立精神・神経医療研究センター 薬物依存研究部部長

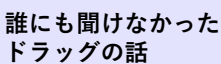


受験、ダイエット、父親のプレッシャー。ストレスで気が変になりそうな高校生のまににドラッグが差し込まれた。軽い気持ちで手をだした主人公キョウは……。ドラッグにはまった少女の真実の姿を描いた問題提起作品！！



白川教人 (監修)
493.7 / 依存 / シ

アルコール、薬物、ネット、ゲーム、買い物、恋愛…依存のメカニズムはみな同じ。病気の自覚がもちにくく、いつのまにか人生を踏み外してしまいかねない依存症の「原因」「しくみ」から「治療法」「周囲の対応策」までを、専門医を監修に、最先端の知識を交えて徹底解説。



A S K (編)
368.8 / 薬依 / 夕

相談者の生の声に、リハビリ施設などで豊富な相談経験を持つ回復者が答える、今までになかった「使える」薬物本！薬物使用者と家族の心理、薬物問題への具体的な対応がわかります。薬物問題が身近にある人だけでなく、教師、保護司をはじめ、相談業務に携わる方々も必見です。